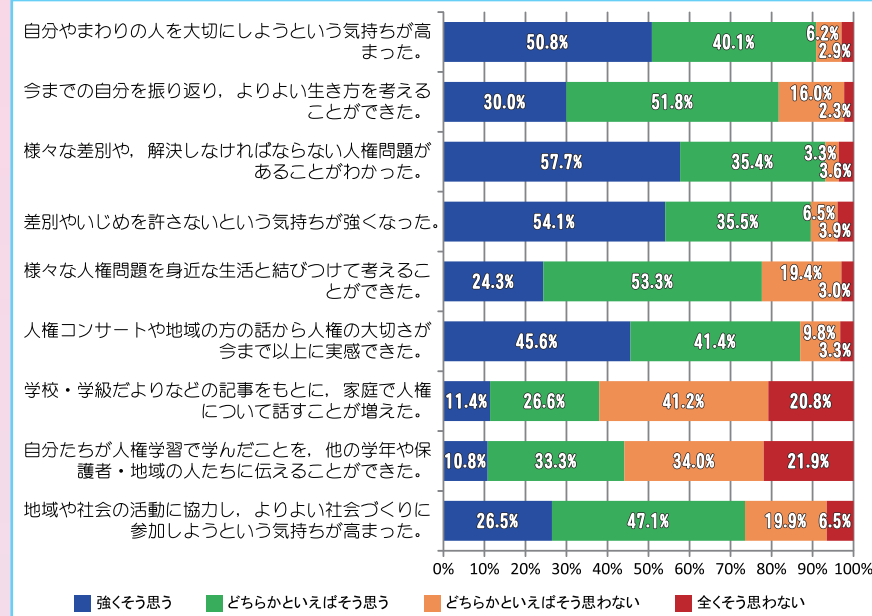


中学3年生を対象に、3年間、この事業の指定を受けて各中学校区で進めてきた人権学習について、アンケート調査を実施しました。

◇ 3年間の人権学習を振り返って



◇ 自由筆記

○ 人権コンサートが一番印象に残っています。障がいのある人の思いとかは、私たちが勝手に想像して「かわいそう」とか思うだけでは何も変わらないと思うので、実際に苦しいことを経験した人の話をきくというのはすごく勉強になりました。

○ 私たちの何倍も長く生きてきた人の人権についてのお話がすごく心に残っています。そこで学んだ「皆がいるからこそ自分がいる」という言葉をこれから何がおきるかはわかりませんが学んだことや知ったことを活かす事ができたらいいなと思っています。

○ 喜田貞吉博士についてのフィールドワークや3回あった人権コンサートなど、いろいろな人権学習をして、今と昔の人権のとらえ方や、さまざまな差別・人権問題があることがわかった。自分には少しのことしかできないけれど、少しでも差別や人権問題をなくしていきたいと思った。

○ 3年間、数々の人権学習をしてきました。その中で印象に残ったのはただ1つです。それは命を大切にすることです。お互いを尊重し合い、時に衝突することもあるのは当然のことです。ただ、その中に命を大切にすることであることを忘れないということを多くの人々から学びました。

○ 3年間の人権コンサートがとても良かった。歌をとおして人権について学ぶことは、楽しく、より人権への思いが強くなったと思った。地域の人など身近な人から話を聞けたら、もっと関心が深まると思う。

2013（平成25）年度

人が かがやく

— 人権尊重のまちづくりをめざして —



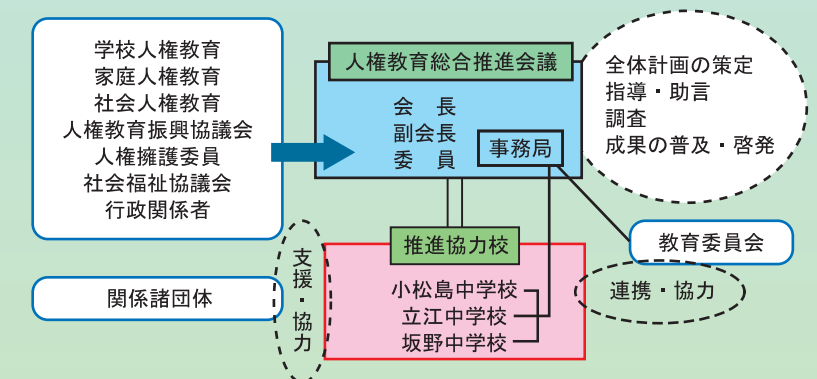
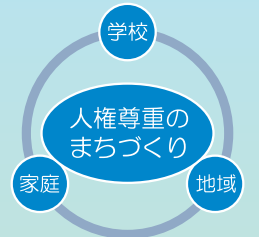
このリーフレットは、学校の保護者の皆さんや地域の皆さんに、小松島市が2011（平成23）年度から3年間にわたり、文部科学省の指定を受け実施してきた「人権教育総合推進地域事業」の取組を知っていたくために作成しました。

小松島市教育委員会
小松島市人権教育総合推進会議

「人権教育総合推進地域事業」とは

この事業は、学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を推進することによって、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にしたい教育の充実をめざすものです。

小松島市では、2011（平成23）年度より、3つの中学校区を単位として、推進協力校を中心に実践的な取組を通じて、家庭、地域へと広く人権教育を推進してきました。



実際の取組にあたっては、5つの共通した方向を定め、学校区の実情にあわせて取り組んできました。

- 1 これまでの各中学校区での取組をさらに発展・充実させるとともに、互いの実践を共有し、共に学ぶ合う場を設けたり、積極的に家庭や地域へ発信するための手だてを工夫する。
- 2 人権学習を行うにあたっては、児童生徒が主体的に調べ、追求し、意見を発信する授業を重視するとともに、地域の人材や地域教材を積極的に活用した授業を創造する。
- 3 それぞれの地域を学習のためのフィールドとして活用した体験的参加型学習を積極的に取り入れる。
- 4 児童生徒の保護者・地域の人と一緒に学べる人権学習の機会をさらに充実させる。
- 5 市民全体の人権意識を高めるため、中学校区の取組の成果を広く市民に対して普及・啓発を行う。